

# 乳がん検診を 受診しましょう



庄原赤十字病院 外科部長

たかしま ひろとし  
高 寛年

最近ニュースなどで話題になることが多い乳がんですが、実際のところ食生活やライフスタイルの変化に伴って患者数は急増しており、女性のがん罹患率では乳がんが1位です。最近では40歳以上の女性の10人に1人が乳がんと診断されています。日本で乳がんにかかる人が最も多いのは40代・50代の女性です。乳がんは進行がんであっても他のがんと違い抗がん剤がよく効くため死亡率は高くありませんが、抗がん剤治療を行う場合は患者の負担はかなり大きいです。特に、働き盛りの40代・50代の患者が多いので患者の家庭にも多大な影響を及ぼします。

乳がんは、痛みや体調の変化などの症状がありませんし、胃がん大腸がんと違って早期がんであっても手術だけで治療が終わることはあまり

ありません。早期がんでも抗がん剤が必要になる場合はかなり多いです。また、乳がんは①小さい段階からしこりを形成するがん②しこりを形成しないがん—があります。①のタイプのがんは自己検診（自分での触診）である程度は分かるといわれています。②のタイプのがんはマンモグラフィー検査を行わない限り早期発見されません。自己検診とマンモグラフィー検査を併せて行うことで発見率が上昇します。乳がんは、胃がんや大腸がんと同様に検診で早期発見可能ながんですので検診を受けないのはもったいないです。早期発見につなげるために乳がん検診を受診しましょう。さらに、異常に気付いたら、「こんなことで受診してしかられないだろうか?」「これくらい大丈夫」などと考えずに、すぐに受診してください。

## 庄原市内で乳がん検診を受けられる施設

庄原赤十字病院  
☎(0824)72-3111

庄原市立西城市民病院  
☎(0824)82-2611



※庄原赤十字病院は、広島市民病院を指導施設とする乳がん学会の関連施設で、乳がんの診療に当たり広島市民病院と密接な連携を取っています。

問い合わせ 保健医療課健康推進係 ☎ 0824-73-1255